

- 団体名: 特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースターセンター
- 所在地: 〒960-8031 福島県福島市栄町1-1 福島駅西口2F
- TEL/FAX: 024-531-7382
- E-mail: fukushima-bftc@bz03.plala.or.jp
- URL: <http://www.fukushima-bftc.jp/information/>

以下は11月29日(水)福島会場でのプレゼン資料です

特定非営利活動法人 ふくしま バリアフリー ツアーセンター

佐藤 玲子・林 宏・佐藤由香利



JR福島駅西口2階(新幹線改札口向い)



●設立のきっかけ

超高齢化社会を迎え
高齢になっても
身体が不自由になっても
障がいがあっても

花とくだものといで湯の
福島へ

安心して宿泊・観光に
来て！



●団体の目的

高齢者・お体の不自由な方が
安心して楽しく旅行ができるよう

- ・バリアフリー情報を提供
- ・バリアフリー相談応需
- ・バリアフリーの付加価値提案



私たちの思い、考え

身体障害者366.3万人、知的障害者54.7万人、精神障害者320.1万人

16人に1人が、現在の生活の中でご不便を感じている

現状

バリアがあっても
変えられない



今後

障がい(**バリア**)は
価値(**バリュー**)に
変えられる

あなたの傍に**16人に1人**がいる！
その人たちが、多くの仲間を
連れてくる！



活動紹介

一人ひとりの
ハンディに合わせた
快適な旅の提案と紹介



① 観光・宿泊施設等の
バリアフリーの情報発信・提供

② 観光・宿泊施設等の
バリアフリー調査

③ 観光団体・行政・企業等との
バリアフリー普及、宣伝

④ 高齢者・障がい者への
旅行支援による地域活性化
⇒花見山車いすサポート事業



地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

● バリアフリーおもてなし勉強会

- 花見山 花案内人さん向け研修
- 福島学院大学生ボランティア
バリアフリーおもちゃ博
- 福島県旅館組合連合会講演



● ボランティア参加者の反応

「障がい者からの感謝の気持ちや
笑顔に触れ、やりがいを感じた」

「障がい者の視点に立って、もっと
考えたいと思った」

● 花見山 車いすサポート事業



● 花見山 車いすサポート観光客の反応

「この素晴らしい活動を知るのに苦労した。
ネットで探しても見つけられない」

「この“介助ありのお花見”にまた次回
も参加したいし、周りの人にも伝えたい」

協働に向けて

活動・組織での悩み
困っていること

① 広報力不足

センターの活動を知ってほしい！
バリアフリー観光の情報発信力不足

② 普及PR力不足

バリアフリー施設を増やしたい！
心のバリアフリーを広めたい！

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

① 広報協力

カムリ番組を作りたい！
企業HPにバナーを貼らせて！
バリアフリー観光や施設の情報発信
「ふくしまバリアフリーツアーセンター」
知名度UP！

② 普及PR協力

ブルーペイントプロジェクト



みんな(市民や社員)で
駐車場をブルーペイント塗装
ペンキ代だけ負担して！

山形バリアフリー観光ツアーセンター 画像転載

企業に向けてメッセージ

バリアフリーは顧客満足度をUP！

- ①バリアを少なくする
⇒「行けた！」感動 ⇒周りも感動 ⇒最良の顧客
- ②高齢者や障がい者の方は
必ず複数で来る ⇒ 経済効果
- ③バリアがないことは
ベビーカーの需要も見込める

何をどうすれば
バリアフリーになるのか？
ズバリ提案！

廃業寸前の旅館を
バリアフリー改装で
奇跡の集客10倍達成！
伊勢志摩BFTC



来る2020年オリンピック・パラリンピックへ

私たちの経験と情報をぜひ活用してください！